

## ◆やまがた山の音楽会に出演

今年の『やまがた山の音楽会』では、本物のオーケストラとともに歌うという、子どもたちにとって特別な経験が叶いました。ステージに立つと緊張した面持ちでしたが、指揮者の方が子どもたちに優しく合図をしてくださった瞬間、表情が和らぎ、伸びやかな歌声に変わっていききました。特別なステージで、子どもたちの歌声がオーケストラの音色と重なり合い、会場いっぱいに広がったとき、その歌声と素直な表現に、多くの皆様の心を動かしたのではないのでしょうか。「子どもたちの一生懸命に歌う姿を見ていたら、涙が出ました。」と言われた方もみえました。歌い終わったあとの子どもたちの誇らしげな笑顔からは、『自分たちにもできた』という確かな自信が伝わってきました。



## ◆いわ桜小との太鼓交流 — 伝統を受け継ぐ子どもたちの誇り —

今年も、いわ桜小学校との太鼓交流が行われました。伊自良南小3年生、伊自良北小の十六拍子、いわ桜小の雨乞い太鼓。どちらも長い歴史の中で大切に守られてきた、地域の宝です。お互いの演奏を聴き合うときの真剣な眼差し、演奏後に自然と湧き上がった拍手。子どもたちは、ただ太鼓を演奏するだけでなく、『伝統を未来につないでいく責任』を自覚しているようでした。太鼓交流の後には、みんなでドッジボール大会をしました。学校の違いを超えてチームになり大変盛り上がりしました。

## ◆北小ぎんなんカンパニーの活躍 — “北小の懐かしい味” —

今年は「北小ぎんなんカンパニー」として、全校22名の児童が一人一役の役職や仕事を受け持ち、社長、副社長を中心に銀杏活動が行われました。また、遊楽舎さん前では、今年もぎんなん販売活動をさせていただきました。地域の皆様においしい銀杏をお届けしたいという思いで、毎日休み時間は校庭に出て、丁寧に作業を進めてきました。遅れている部署があれば、自然と『手伝うよ』という声があがり、作業中には『もっとこうしたら喜んでもらえるかな』とパッケージに小さなメッセージカードを添える工夫をするなど、主体的な姿がみられました。売り場で「ありがとうございました。」と、お客様に感謝を伝えるときの子どもたちの表情は、本当に嬉しそうでした。ぎんなんを通して、地域の方々となつながら喜び、仲間と共に人の役に立つ幸せを実感できました。全校みんなで一生懸命に取り組んだ銀杏活動でした。

### 地域に支えられて育つ子どもたち

伊自良北小の教育は、地域の皆様の温かい支えなしには成り立ちません。行事への参加、日々の見守り、そして何より子どもたちを信じ、励ましてくださるその気持ち、子どもたちの成長を大きく後押ししています。

激動の時代を生きる子どもたちが、地域の温もりを支えられながら、未来へ向かう力をゆっくりと確かに育んでいるその姿に、私たち職員も勇気と希望をいただいています。

今年も残りわずかとなりました。保護者、地域の皆様には、温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。皆様、よい年をお迎えください。

伊自良北小学校の  
ホームページはこちらから！  
「子どもたちの輝き2025」

